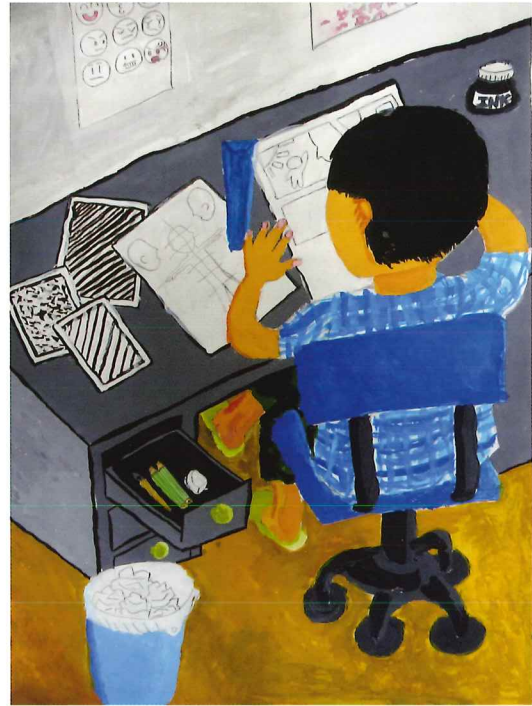


山形大学附属学校園だより 六 稜

2019.3.7
【発行】
 山形大学附属学校園
【印刷】
 坂部印刷株式会社



第78回全国教育美術展 特選
 小3 木村 佳嘉 (まどを見ていると…海!)



第78回全国教育美術展 特選
 小6 阿部 稜也 (メ切間近のぼく)

附属学校園のPTAおよび同窓会の皆様には、日頃から多大なご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

一昨年来報道されてきた働き方改革、公立学校に対してもいろいろな改革が要請されていることはお聞き及びのことと申します。附属学校園は昨年来、勤務時間を超過しないように努力を続けていますが、充実した授業、学校生活のためにはどのような工夫が必要か、常に考え工夫しているところです。子ども達としっかり向き合っこの学校ですので、時間を減らしても、守らなければならぬものは守る、そのための工夫です。

もう一方で、全国の国立大学附属学校園は、その県の公立校のモデルとなる新たな改革を求められています。モデルは、先進的な授業の取り組みや指導法でもあり、働き方でもあります。山形県の地域性を考慮すると、少子高齢化に対する配慮も求められるはずですが、今までも附属はそれなりの評価を得てきているわけですが、さらに上を目指し、新たな附属として生まれ変わる必要があります。新たな試みとして、公開研究会を廃止し、個々の授業づくりを地域の教員に見てもらおうという試みが現在計画されています。

大きな改革が必要となりますが、保護者の皆様には附属学校園の将来に向けた挑戦を温かい目で見守って頂ければと存じます。そして、さすがと言われる附属学校園であり続けるよう努力したいと考えております。



附属学校運営部長

藤田 洋治

より高く、新たな附属へ

本校は今年度より全学年1学級34人となりました。生徒会では附中の伝統である「奉仕の心」を大切に主体的に取り組んでいます。部活動では、剣道、陸上競技で東北大会出場、文化活動では科学の甲子園ジュニアにおいて全国大会4年連続出場を果たしました。

PTA活動では、今年度も環境整備作業でたくさんのPTAボランティアの方々から集まっていたいただき、除草作業や側溝の清掃作業に取り組んでいただきました。

本校の柱である研究では、探究型学習の実践校として、6月にビッグウイングで県の公開フォーラムとしての授業提案や他校での出前授業(数学)を実施し、好評を得ています。

これからも、生徒一人ひとりを大切に、保護者の皆様と連携しながらよりよい附中を創っていきたく思います。

研究テーマ「未来を創る豊かな学びの探究～教科を中心に育む資質・能力～」

主な行事と日程

4月27日	PTA総会、歓送迎会
5月24・25日	公開研究会
6月24日	PTAボランティアによる環境整備
7月6日	大運動会
9月2日	PTA親善学年対抗ソフトバレー大会
11月8日	合唱コンクール

昨年度オリンピック・パラリンピック教育実施校として認証を受け、今年度は教育活動の柱に「チャレンジすること」や「多様性を認め合い互いを讃える」ことなど、オリパラの精神を掲げ活動してきました。

児童生徒は、「ふれあいオリパラ2020」と名付け看板の製作も行いました。春には、親子でポッチャ競技に取り組んだり、夏には地域文化である花笠踊りの学習成果を発表したりしました。夏から冬にかけて、水泳競技や陸上競技のオリンピックやパラスポ山形ワイバングの選手との交流を通し、オリパラ競技への関心も高まりました。

公開研究会では、県内はもとより、北は青森県から南は東京都、西は島根県まで多数の県外からの参加もいただき、膝を交えて子どもの姿を語り合うことができました。授業改善に結びつく実のあるものとなり、昨年度以上の県内外への発信となりました。

研究テーマ「一人一人が生き生きと活動する姿を求めて」

主な行事と日程

4月29日	PTA総会
5月26日	ふれあいオリパラ2020春
7月23～25日	ふれあいオリパラ2020夏
11月17日	公開研究会
12月17～21日	ふれあいオリパラ2020冬
2月18～22日	ふれあいオリパラ2020ウィーク

編集委員
 牧野 佐和、細谷 香織、
 渡辺 玲子、外山 真奈美、
 下山 久美子、元木 敦子、
 村上 智子、前野 和子、
 丹野 愛香(特)

最後に山形大学、附属学校運営部、学校園の先生方、保護者の皆様、心より感謝申し上げます。



附属中学校

今年度の附属学校園



附属特別支援学校

本園は今年度創立115周年を迎えました。100周年記念曲を作曲していただいた那須一彦先生をお迎えして記念式を行うとともに、運動会にはオープニングの太鼓曲「MATURI」を新たに作曲していただき、附属中学校のお兄さん達によって演奏を披露しました。

また、今年度は「食育」を教育課程の柱に位置づけ、本園の魅力の一つである豊かな自然環境を生かしつつ、大学からの協力も得ながら、栽培・調理・食味指導等、様々な活動に取り組んできました。

子ども達はもちろん、保護者の皆様ともキーワード「考える」を共有し、変化の中にあってもそれぞれが成長できる、より良い園生活を創っていきたく思います。

研究テーマ「遊びこむ子どもを育む」

主な行事と日程

4月25日	PTA総会
4月28日	親子園外保育
6月6日	公開研究協議会
6月26日	創立記念式
9月15日	運動会・親子行事花笠踊り
10月16日	ふよの集い
12月5・12・19日	ステージフェスティバル
2月15日	年長さんありがとうの会



附属幼稚園



附属小学校

子どもたちは、「友情の花満開一心つながる附属小一」という年間を通した大テーマを掲げ、日々みり班活動等がんばっています。

今年度は、創立140周年を記念して、子どもたちの記憶に残る様々な行事を催しました。5月の開校記念式後には、絵本作家の土田義晴先生監修のもと、6年生の親子で外構の壁画制作に取り組みました。

10月の創立140周年記念式後には、NHKの動物番組「ダーウィンが来た！」のディレクターを務める渡辺一教先生の講演を聞きました。午後からは、ヴァイオリン&ピアノデュオ「シエル」のヴァイオリニスト大和香名子先輩らによる演奏を聴きました。

さらに、後期始業式の後には、平昌オリンピック銅メダリストの高梨沙羅選手との交流会を開き、学年毎に記念撮影をしました。

研究テーマ「よりよい自分に向かって歩み続ける生き方が育つ学び」

主な行事と日程

4月21日	PTA総会、歓送迎会
5月18日	開校記念式・チャレンジ記録会
6月21・22日	学習指導研究協議会
9月8日	みりスポーツフェスティバル
10月1日	創立140周年記念式
11月1・8日	教科・領域等研究協議会
2月28日	6年生を送る集会

編集後記
 山形大学附属学校園だより「六稜」十一号をお届けします。

今年度は、災害が多く、スポーツ界で不祥事が多く報道された年ではありましたが、テニス界で大阪なおみ選手が全米、全豪大会で優勝という快挙を成し遂げました。また、ノーベル生理学・医学賞に本庶佑氏が選ばれ、日本人の技術のすばらしさを感じました。

六月に働き方改革関連法が成立し、附属学校園でも先生方、PTAの有り方など変革が必要とされています。変革は難しいものですが、今後も活発な協議を重ね、よりよい方向へと向かえるよう期待しております。

今後は、附属学校園の地域における役割を果たすために、それぞれの学校園が特色を生かしながら、四校園がチームとなり、教職員、保護者が力を合わせていきたいと思っております。



保護者研修会(特PTA)



親善ソフトバレー大会(中PTA)



1年保護者学習会(小PTA)



親子行事(幼PTA)

PTA活動

日頃よりPTA活動へのご理解とご協力を頂き御礼申し上げます。今年度から役員数を見直し、各学部三名ずつの全九名でPTA活動に取り組みました。三つの専門部は一つにまとめ企画部になりました。

研修会は歯科医をお招きして健康な歯について講演していただき、治療後の継続したメンテナンスが必要であるといったお話を伺うことができました。

毎年企画しています事業所見学も行いました。一般企業、KDDIエボルバ、B型事業所、就労移行支援事業所、生活介護の五事業所を三つのコースに分けて見学してきました。実際に働いている様子を見学したり、利用者の方との話のほか質問をしたりできるため、とても参考になります。今後も継続していきたい活動です。

また、今年度もおさがりの会を二回開き、毎回皆さんに重宝してもらっています。これからも子どもたち、保護者にとって将来につながる活動ができるように保護者と学校が一つになって盛り上げていきたいと思っております。今後とも、皆様のご協力よりしくお願ひ申し上げます。

附属特別支援学校PTA会長 山口 雅代

PTA活動報告

日頃よりPTA活動にご協力を賜り、感謝申し上げます。

中学校のPTA組織は四専門部と学級委員長及び母親委員会で構成されています。総務部は歓迎会や各学年懇親会等の運営。体育部は運動会の協力と球技大会やソフトボール大会の運営。施設厚生部はグラウンドや校内の環境整備、雪囲いの指導協力。広報部は「附中だより」の発行。母親委員会は、研修会の参加運営や制服リサイクルなど、それぞれに活動しています。更に学級委員長と総務部が評議員を務めています。保護者数の減少に伴い、昨年度より施設厚生部の環境整備は、全PTA会員から有志を募って活動していますが、年々参加者も増え、また今年度は生徒の有志も活動に参加するなど、その輪が広がっており、非常に感謝しています。

また、毎年各学年及び教員チーム対抗によるソフトバレーボール大会を開催していますが、保護者と教師の結束が高まることに一役買っていると感じています。

私達PTAは、子ども達が安心して学び、健やかに成長できる環境を整えていくという責務がありますが、今後とも、子どもの笑顔があふれるための活動を継続していきます。

附属中学校PTA会長 菅江 正幸

PTA活動のご報告

日頃よりPTA活動へのご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

本校のPTA組織は、総務部、保健部、広報部、研修部、安全部、母親委員会で構成されており、それぞれの部以外の会員も含めて、全員が参加できるPTA活動を目指し年間の活動計画を策定しております。

総務部は歓迎会の運営、保健部はPTAレクリエーション、市P一中学区ソフトボール大会の運営、広報部は年二回の附中だよりの発行、研修部は保護者を対象とした研修会の開催、安全部は児童登下校時の交通指導、母親委員会は年一回の研修会、制服リユース会などを行っております。

これらの活動への保護者の方々からの協力により、昨年、優良PTA山形県教育委員会表彰を受けました。感謝申し上げます。

これからもPTA活動を通じて附属小学校の歴史と伝統を大切に、保護者と学校が同じ方向を向き子供たちの健やかな成長を見守っていきたくと考えております。今後とも皆様のご協力をよりしくお願いいたします。

附属小学校PTA会長 佐藤 元

PTA活動について

日頃よりPTA活動へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本園のPTA組織は、学級委員長と三つの専門部で構成されています。学級委員長会では、園と保護者の連携を深める様々な催しを企画し、取り組んで参りました。特に、運動会のフィナーレを飾った親子行事「花笠おどり」は、子どもたちの心に地域の伝統文化を根付かせる一助となりました。運動会の成功におきましては、行事部の皆さんの力強いサポートなくして語ることはできません。また、冬に行われた雑煮会食でも、食育活動にご貢献頂きました。この笑顔あふれる幼稚園の様子を、広報部発行の「園じよい」で紹介しております。保護者の視点で作られた紙面は、ご家庭でも親しみやすい媒体として毎年ご好評頂いております。図書部では、三年ぶりに図書の本のリサイクル会が開催されました。幼稚園に眠っていた本が、もう一度子どもたちの手に戻りよみがえる、実に意義深い催しとなりました。

このように、今年度も多岐にわたり充実した一年となりました。皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

附属幼稚園PTA会長 志賀浪 健

附属幼稚園PTA活動のご報告



共同学習(特・小)



交流授業(中・特)



部活動見学(小・中)



家庭科交流(幼・中)

交流学习の様子